

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

体力・運動能力の状況（岡山県公立学校の状況）

1 調査の実施状況

(1) 調査の目的

- 本県における、これまでの体力向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における指導などの改善に役立てる。

(2) 調査期間 令和7年4月～7月

(3) 岡山県の実施人数（公立学校）

	小学校＜5年生対象＞	中学校＜2年生対象＞
児童生徒数（実施校数）	14,474人（357校）	13,587人（155校）

※ 小学校には特別支援学校小学部、義務教育学校前期課程、中学校には特別支援学校中学部、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程を含む

※ 政令指定都市である岡山市は、義務教育の実施について、財源や人事、組織に関する権限を有し、それに基づいて岡山市の実態を踏まえた目標や指標を設定し、独自の教育施策を推進している。

本調査では、県民の皆様に、岡山県全体の状況をお知らせするため、岡山市における結果も含んだ数値を公表している。

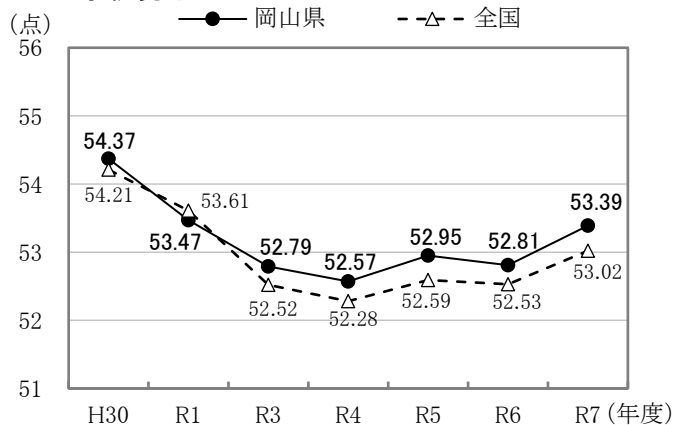
(4) 調査内容

- ア 実技に関する調査（新体力テスト8項目で実施）
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン(中学校：持久走も可)
50m走、立ち幅とび、ボール投げ(小学校：ソフトボール、中学校：ハンドボール)
- イ 質問紙調査 □児童生徒：運動習慣、生活習慣等に関するもの
□学 校：子どもの体力向上等に向けた学校の取組等に関するもの

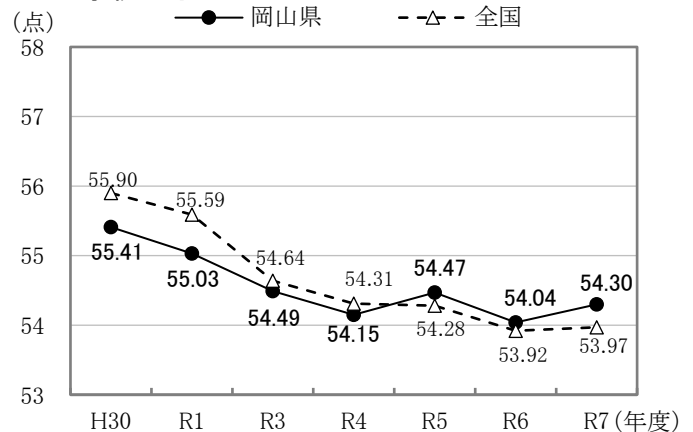
2 調査の結果

(1) 体力合計点の年次推移

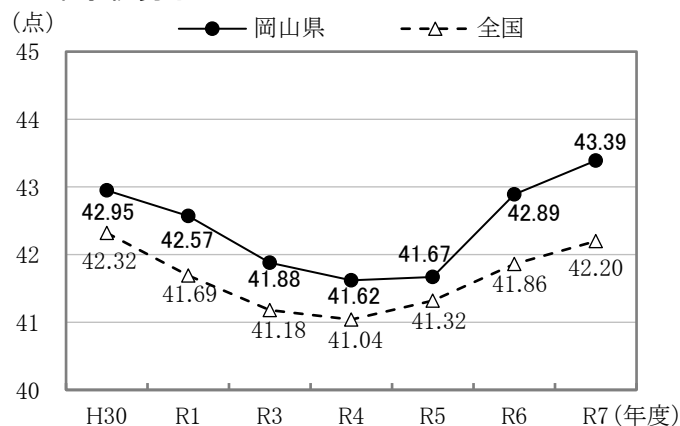
○小学校男子



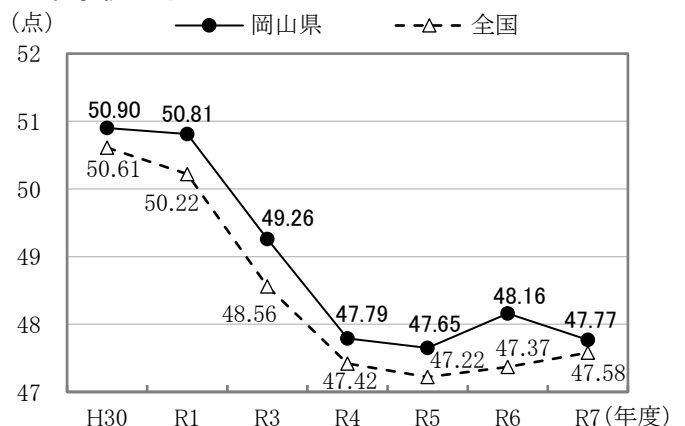
○小学校女子



○中学校男子



○中学校女子

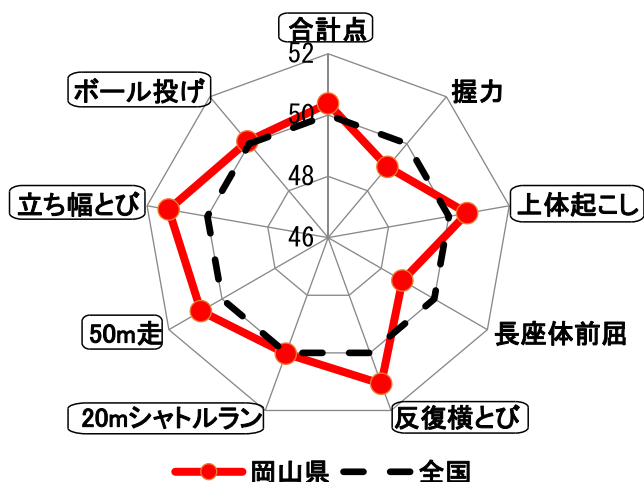


体力合計点：8項目の成績をそれぞれ1点から10点に得点化した合計点 ※R2は新型コロナウイルスの影響により未実施

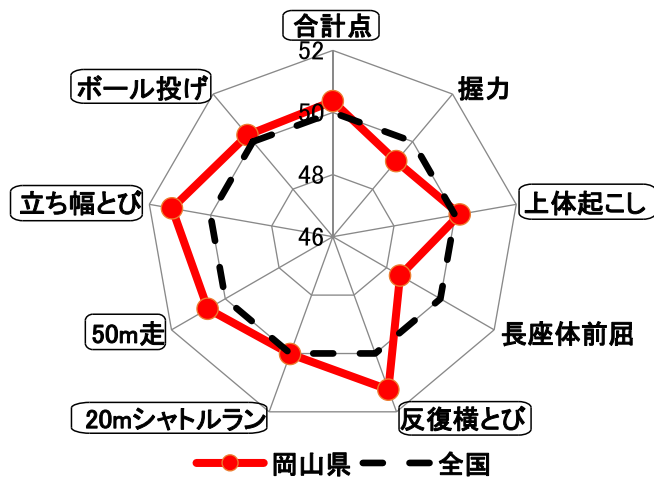
(2) 体力合計点と各項目の平均値

※項目を囲む は、全国平均以上のもの

【小学校男子】



【小学校女子】

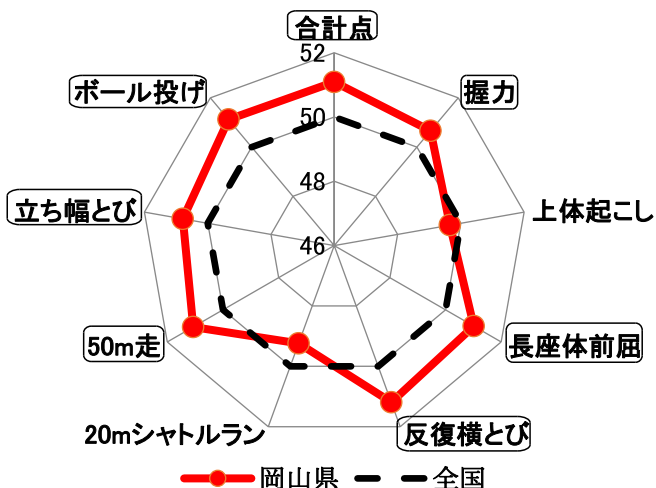


※全国平均を 50 とする Tスコアによる比較

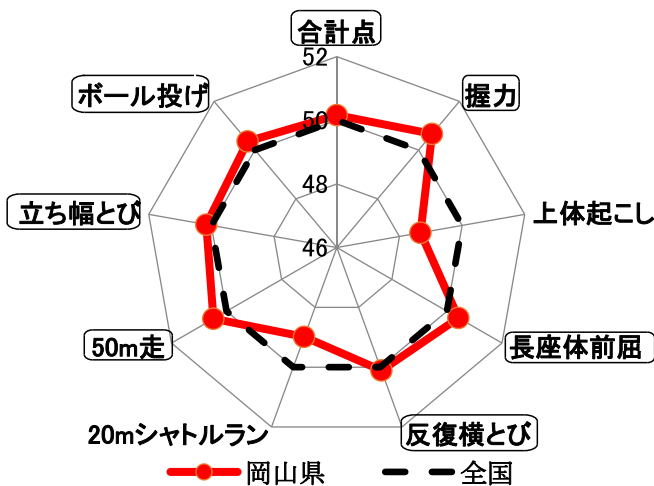
体力・運動能力について（小学校）

- 体力合計点は、男女ともに全国平均を上回り、前年度と比べ高くなった。
- 項目別で見ると、例年と同様、男女ともに握力、長座体前屈の結果が全国平均と比べ低くなっているが、その他 6 項目が全国平均を上回っている。

【中学校男子】



【中学校女子】



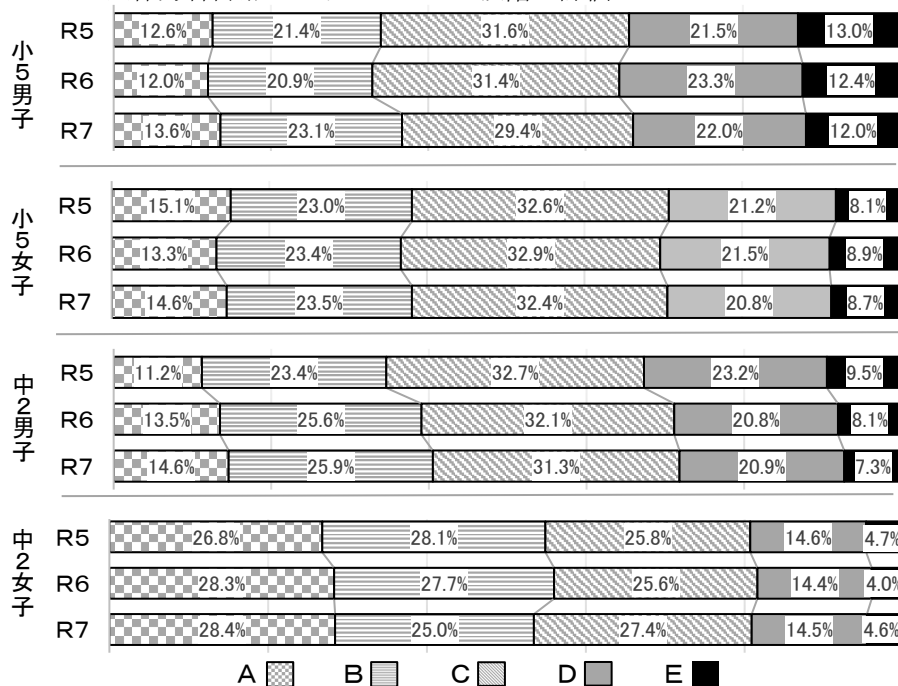
※全国平均を 50 とする Tスコアによる比較

体力・運動能力について（中学校）

- 体力合計点は、男女ともに全国平均を上回り、男子は前年度と比べ高くなっているが、女子は低くなった。
- 項目別で見ると、例年と同様、男女ともに上体起こし、20mシャトルランの結果が全国平均と比べ低くなっているが、その他 6 項目が全国平均を上回っている。

(3) 総合評価の割合の年次推移（岡山県）

※体力合計点により A～E の 5 段階で評価



評価	小5	中2
A	65点以上	57点以上
B	58～64点	47～56点
C	50～57点	37～46点
D	42～49点	27～36点
E	41点以下	26点以下

【総合評価の割合について】

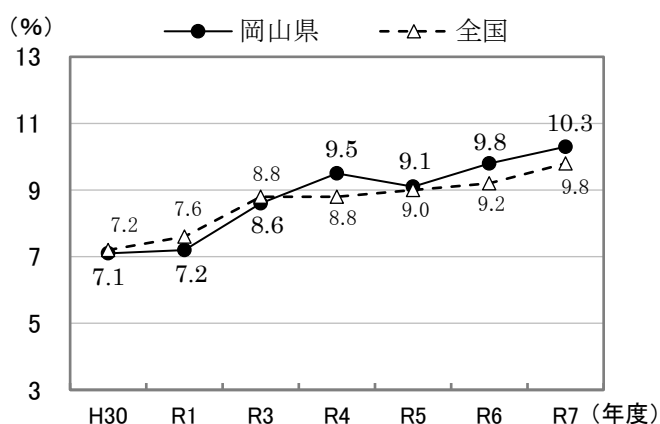
体力総合評価ABC群（C以上）については、前年度と比較して小学校男女、中学校男子で増加しており、中学校女子で減少している。

運動習慣等の状況（岡山県公立学校の状況）

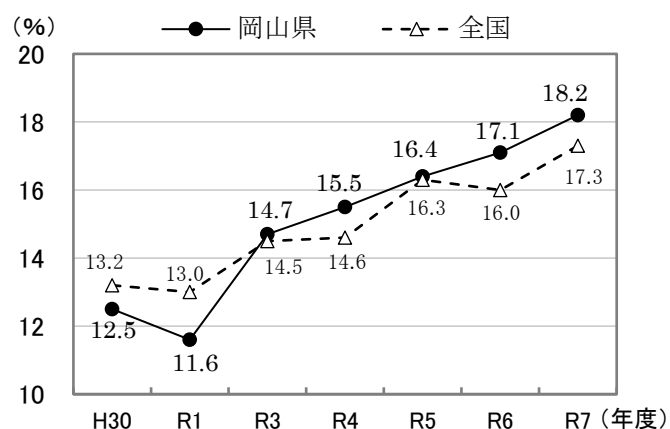
1 児童生徒質問紙調査の結果から見える特徴

(1) 運動時間について（1週間の総運動時間数が60分未満の児童生徒の割合の推移）

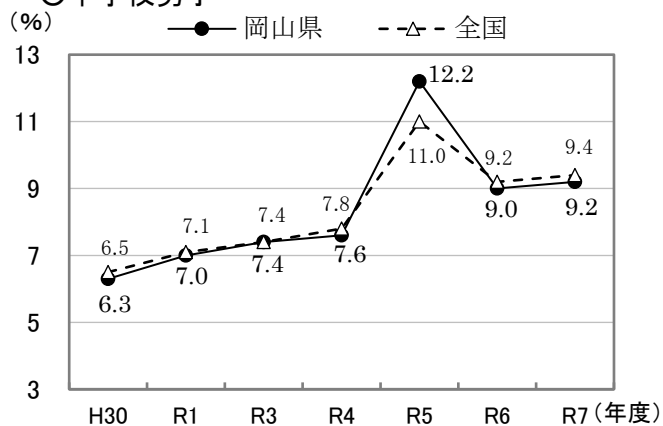
○小学校男子



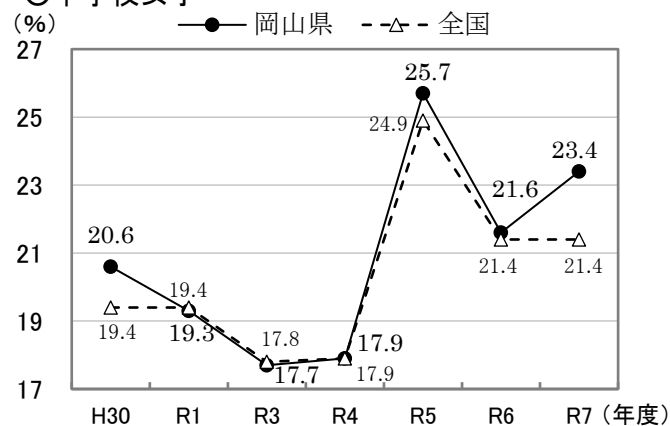
○小学校女子



○中学校男子



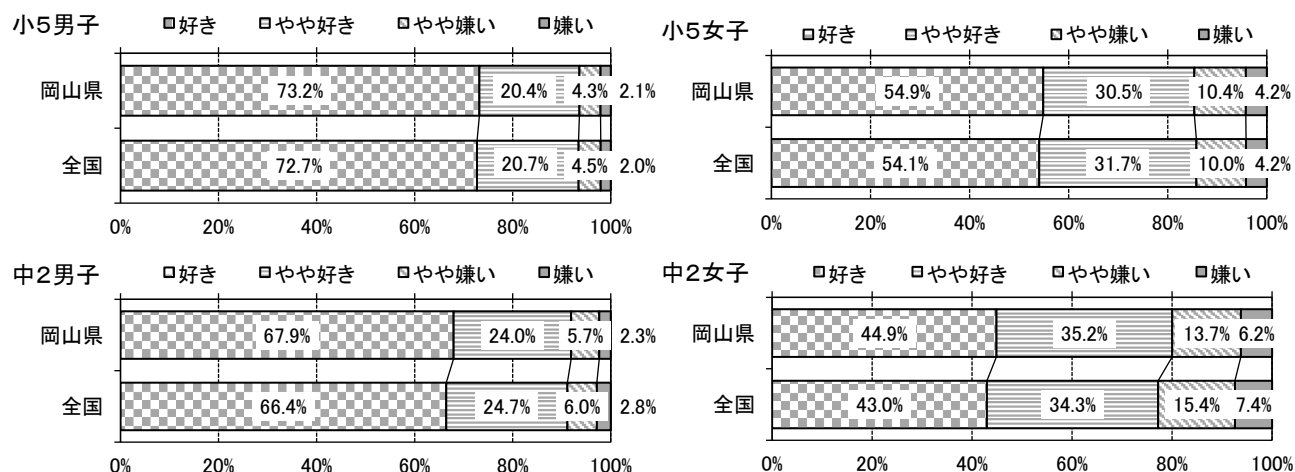
○中学校女子



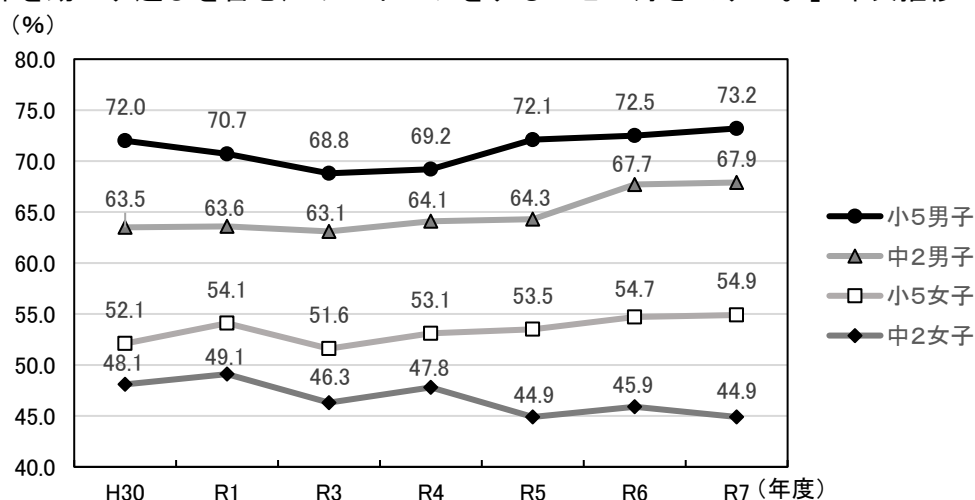
【児童生徒の運動習慣について】

○ 「1週間の総運動時間数が60分未満」（1週間の意識的な運動が60分未満）と回答した割合は、中学校男子以外は全国平均より高くなっている。

(2) 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか。」



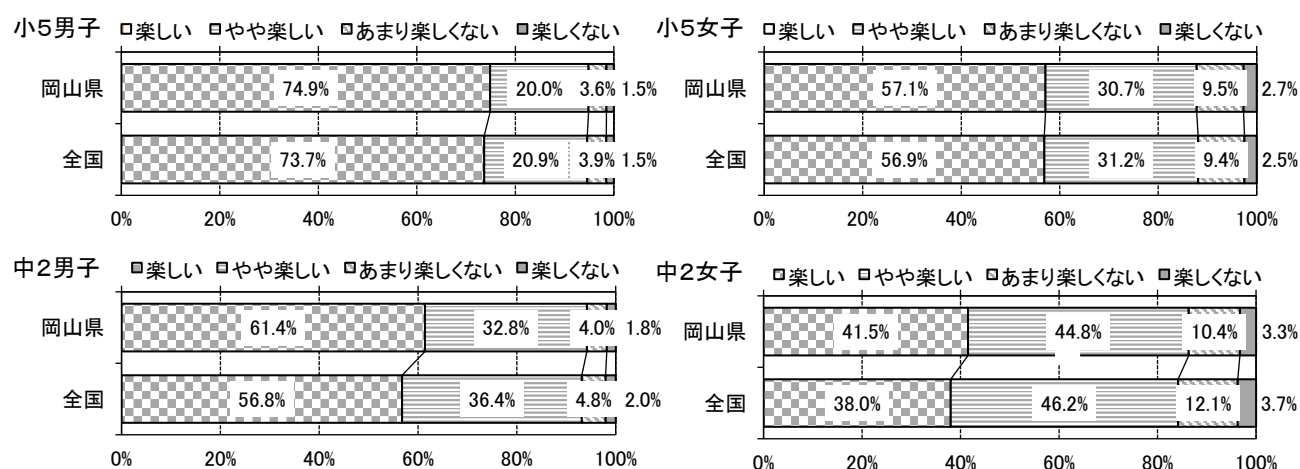
「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか。」年次推移（岡山県）



【児童生徒の意識について】

○ 「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合は、小学校男女で全国平均とほぼ同等である。中学校男女で全国平均と比べわずかに高かった。

(3) 「体育・保健体育の授業は楽しいですか。」



【児童生徒の意識について】

○ 「体育・保健体育の授業が楽しい」と回答した児童生徒の割合は、小学校男子で全国平均と比べわずかに高く、小学校女子でほぼ同等である。中学校男女で全国平均と比べ高くなっている。

成果と課題及び今後の取組について

1 成果

- ア 小・中学校ともに、体力合計点で全国平均よりも高い水準を維持している。
- イ 小学校男女と中学校男子は、体力合計点が前年度と比べ高くなっており、これまで授業改善や県教委の事業に各学校が継続的に取り組んできた成果と考えている。
- ウ 「運動やスポーツをすることが好き」と回答する児童生徒が、中学校女子以外は令和4年度以降、4年連続で増加している。

2 課題

- ア 中学校男子を除いては、体力合計点がコロナ前の水準に戻っていない。
- イ 「運動やスポーツをすることが好き」と回答する児童生徒が、中学校男子以外は各種計画の目標値(小5男子75.0%、小5女子60.0%、中2男子65.0%、中2女子50.0%)に達していない。
- ウ 小・中学校ともに、1週間の総運動時間数が60分未満の割合が増加しており、運動習慣が定着しているとはいえない。
- エ 全国平均より低い傾向が続いている種目への対応
 小学校 ― 握力、長座体前屈 中学校 ― 上体起こし、20mシャトルラン

3 今後の取組(政令指定都市である岡山市を除く)

本調査結果から明らかになった課題の解決に向けた実践が進むよう、次のとおり体力向上に向けた取組を進めていく。

(1) 体力向上に向けた校内体制整備

- 各校の目標に応じた取組を、体力向上担当者を中心に学校全体で行う。その際に県の事業である「一校1チャレンジ」の取組(①体力アップ・マイベストチャレンジ、②いきいき岡山っ子☆運動習慣カード、③みんなでチャレンジランキング)を効果的に取り入れる。

(2) 教員の指導力向上及び授業改善への対応

- 各種研修会等
 - ・各校の体力向上担当者を対象とした、体力向上研修会の実施
 - ・教員の要望に応えた、実技研修会を実施
- 指導力向上への支援
 - ・体育授業エキスパート派遣事業(学校へ県保健体育課の指導主事を派遣)
 - ・体力向上推進リーダー派遣事業(モデル市町村へ体育専科教員を配置)

(3) 児童生徒に対する体力向上に向けた取組

- 優秀賞バッジ(H11～)による、体力向上の意欲づけ
- 一校1チャレンジの取組

優秀賞バッジ(Aバッジ)



<p>①体力アップ・マイベストチャレンジ</p> <p>自分が伸ばしたい2種目を選び、次年度の新体力テストで合計得点が3点以上アップした児童生徒等を表彰</p>  	<p>②いきいき岡山っ子☆運動習慣カード</p> <p>ビンゴカードの要素を取り入れ、運動や体を動かす遊びの実施状況を把握し、目標達成で運動マスターバッジを配付</p>  	<p>③みんなでチャレンジランキング</p> <p>みんなで協力して記録に挑戦することで、「運動の習慣化」、「体力の向上」、「仲間づくり」を図ることを目的とした事業</p>   <p>○岡山県「ももっち」</p>
---	---	---

- 新体力クエスト
 - 家庭でも手軽にできる体力向上につながる運動や運動遊びをYouTubeに掲載

